

IX-NET 導入事例

1. 日本本社システム(データセンター、クラウド)への接続

事例1-3. 中国国内工場から日本本社の生産管理システムへのインターネットVPN接続

【導入プラン】: IX-NET※:

※専用のIX-Router機器は利用しないプラン

・お客様が構築済みの Site to Site VPNの経路にIX-NETを経由させる

【業種】: 製造業

・従業員数: 約100名

・利用拠点: 中国国内工場(大連)

◆ IX-NET 導入の背景

- ・中国の自社工場から日本本社の基幹システム(オフコンで稼働)へ自社構築のVPNによるインターネット接続通信で業務を行っていた。
- ・中国から日本のシステムへのインターネットVPNの2つの経路のうちの1つが接続できない事態が生じた。
- ・2つ目の経路が途切れてしまうリスクへの対応としてIX-NET の検討を開始された。
- ・IX-NETの事前検証へと進めようとした矢先、中国/支社間のインターネットVPN経路も繋がらなくなり、基幹システムへの接続がすべて遮断される状況に陥ったことから、大至急の対策が必要となった。

◆ IX-NET が選ばれた理由

1. 確実に繋がること

IX-NETの仕組みの説明を受け、シンプルで分かりやすく、論理的に問題なさそうだと判断し、契約前提での検証接続を行うことで、快適な通信を立証できた。

2. 直ちに利用開始ができること

既存のインターネットでの接続不可となったその日に緊急対応を行ってもらい、当日中に開通準備までを完了させ、翌朝からIX-NET経由による中国拠点—日本本社間の業務通信を復旧させることができた。

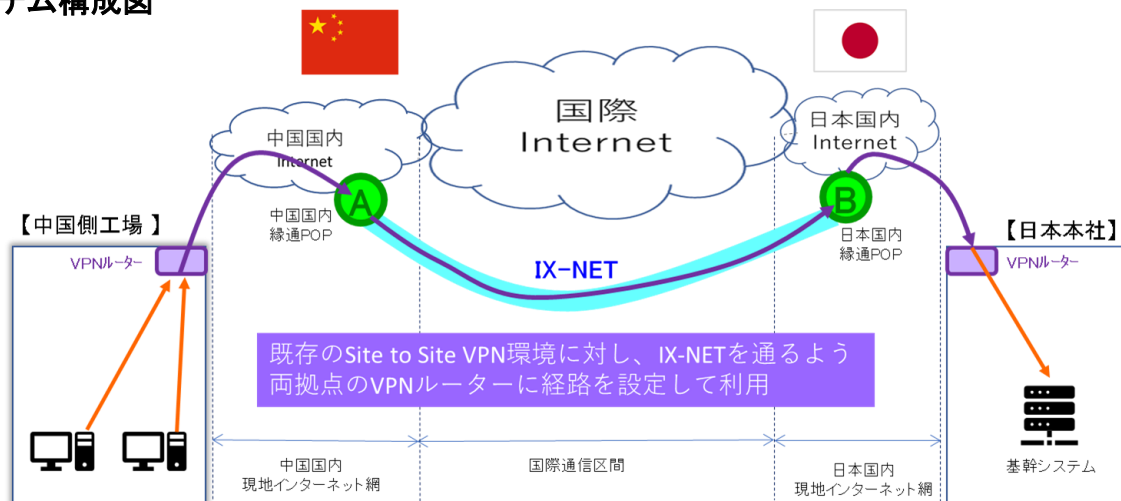
3. コスト

国際専用線に比べ極めて安価に抑えることができた(単価4万円/1Mbpsで帯域3Mbpsで利用開始、尚、本番利用の環境で検証できたので、業務に必要な通信帯域を確認でき無駄のない契約が結べた)

◆ 導入の効果

本社に続き支社側も中国拠点と接続ができない状態に陥ったが、その日のうちにIX-NET側の開通設定(接続構成の確認、VPNルーターの設定など)、翌日にはIX-NET開通という業務停止はわずか1日のみで業務支障をきたすことなく切替作業を終えられた。開通後は安定した通信状態を継続維持することができている。

◆ システム構成図



※この事例と関連する他の事例

(同様な導入事例は他に複数あります。営業担当へお問い合わせ下さい)